

令和5年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第11号 (2月予報)

○向こう1か月の天候の見通し (令和6年1月25日発表：沖縄气象台)

平均気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	平年並が多い

○2月の発生予報 (沖縄群島)

作物	病害虫名		調査結果	予報		予報の根拠
			1月の発生量 (平年比)	1月からの 増減	2月の発生量 (平年比)	
さとうきび	①	メイチュウ類 (カンシャシ ンクイハマキ・イネヨトウ) (夏植え)	並	→	並	平年の発生量の推移 (→)
(温州みかん)	①	ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移 (→)
マンゴー	①	ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移 (→)
キャベツ	①	菌核病	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
	②	コナガ	並	↗	並	例年の発生量の推移 (↗)
	③	チョウ目幼虫	多	→	多	平年の発生量の推移 (→)
レタス	①	アザミウマ類	多	↗	多	例年の発生量の推移 (↗)
	②	ハスモンヨトウ	やや多	→	やや多	例年の発生量の推移 (→)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※(発生なし)は、今回の調査中に観察できなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量(現況)と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○2月の発生予報つき（沖縄群島）

作物	病害虫名		調査結果	予報		予報の根拠
			1月の発生量 (平年比)	1月からの 増減	2月の発生量 (平年比)	
か ぼ ち ゃ	①	うどんこ病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	②	斑点・褐斑細菌病	やや多	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	③	アブラムシ類	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
さ （ や 平 い 張 ん ） げ ん	①	ミナミキイロアザミウマ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	②	ハダニ類	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移（→）
（ ニ 施 ガ 設 ウ ） リ	①	うどんこ病	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	②	斑点病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	③	ミナミキイロアザミウマ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	④	タバココナジラミ	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移（→）
（ ピ 施 ー 設 マ ン ）	①	うどんこ病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	②	ミナミキイロアザミウマ	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
	③	ヒラズハナアザミウマ	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	④	タバココナジラミ	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
（ 施 設 ト マ ト ）	①	黄化葉巻病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	②	うどんこ病	(発生なし)並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	③	タバココナジラミ	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	④	ハモグリバエ類	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移（→）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

●平年値：過去5～10年間の発生量の平均値

●例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターの
ホームページにて、発生予察の詳細
内容やその他情報を掲載しています。

○2月の発生予報つき（沖縄群島）

作物	病害虫名		調査結果	予報		予報の根拠
			1月の発生量 (平年比)	1月からの 増減	2月の発生量 (平年比)	
小 ギ ク (彼 岸 出 荷 用)	①	黒斑・褐斑病	並	→	並	平年の発生量の推移(→)
	②	アザミウマ類	並	↗	並	例年の発生量の推移(↗)
	③	アブラムシ類	並	↘	並	平年の発生量の推移(↘)
	④	カスミカメ類	並	↘	並	平年の発生量の推移(↘)
	⑤	ハダニ類	並	↗	並	平年の発生量の推移(↗)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（沖縄群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
(温 州 み か つ)	かいよう病、そうか病、黒点病	樹上の葉・枝などの病斑、枯枝が伝染源になるため、発病した葉・枝、枯枝を徹底して除去する。感染時期である新芽期以降から、薬剤による予防散布を行う。
(タ ン カ キ ツ)	褐色腐敗病	本病は果実のみに発生する。園を見回り、発病果を除去すると共に、発病を認めたら直ちに登録農薬を散布する。
	青かび病	本病は貯蔵中の果実に発生する。分生子が空中に飛散して、収穫果の表面に付着したり、傷口から侵入したりして貯蔵庫に持ち込まれる。降雨時や果実に水滴があるときは収穫を行わない。果実に傷を付けないように収穫、運搬、選果を丁寧にする。収穫前に登録農薬を散布する。
マ ン ゴ ー	炭疽病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるので、施設外へ持ち出し処分する。
	チョウ目幼虫	一部施設でコシロモンドクガの発生が見られた。 ガ類幼虫は新葉を食害するので、施設内を見回り、早期発見・防除に努める。
	カイガラムシ類	一部施設でコナカイガラムシ類の発生がみられた。 甘露を排泄するカイガラムシ類は樹上のアリ類を探することで発見しやすくなる。 カイガラムシ類は、一般的に成虫の薬剤感受性が低いことから、幼虫に対して薬剤防除を行う。
レ タ ス	アブラムシ類	有翅虫が多数認められたので、今後の本虫の増加に注意する。本虫はウイルス病を媒介する場合がありますので、登録農薬の散布や植え替え時に粒剤を施用する等して防除に努める。
小 ギ ク	Gibellulopsis chrysanthemiによる新病害	昨年度発生（年末用小ギク）の新病害である。本病は葉にえそ斑紋のような症状を呈し、症状が進行すると下葉が枯れ上がり商品価値を著しく低下させる。今月の調査での発生ほ場率は22.2%であった。防除対策としては健全苗を植え付ける。かん水の時に土が跳ね上がらないように注意する。罹病葉は伝染源となるので速やかに除去し、ほ場外で適切に処分する。

令和5年度 宮古群島 病害虫発生予報 第11号（2月予報）

○向こう1か月の天候の見通し（令和6年1月25日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	平年並が多い

○2月の発生予報（宮古群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		1月の発生量 (平年比)	1月からの 増減	2月の発生量 (平年比)	
さとらきび	① メイチユウ類（カンシャシ ンクイハマキ・イネヨト ウ）（夏植え）	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	② ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
（施設）げん	① ハモグリバエ類	やや多	↘	やや多	例年の発生量の推移（↘）
	② ハダニ類	やや多	→	やや多	例年の発生量の推移（→）
（施設）ウリ	① うどんこ病	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	② ミナミキイロアザミウマ	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移（→）
	③ タバココナジラミ	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移（→）
（施設）とうがん	① ミナミキイロアザミウマ	並	→	並	例年の発生量の推移（→）
	② タバココナジラミ	やや多	→	並	例年の発生量の推移（→）
	③ ハダニ類	並	↘	並	例年の発生量の推移（↘）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（宮古群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンガ	炭疽病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残渣は感染源となるので、施設外へ持ち出し処分する。
	カイガラムシ類	甘露を排泄するカイガラムシ類は樹上のアリ類を探すことで発見しやすくなる。 カイガラムシ類は、一般的に成虫の薬剤感受性が低いことから、幼虫に対して薬剤防除を行う。

令和5年度 八重山群島 病害虫発生予報 第11号（2月予報）

○向こう1か月の天候の見通し（令和6年1月25日発表：沖縄气象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	平年並が多い

○2月の発生予報（八重山群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		1月の発生量 (平年比)	1月からの 増減	2月の発生量 (平年比)	
さ と ら き び	① メイチュウ類（カンシャシ ンクイハマキ・イネヨト ウ）（夏植え）	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）
か ぼ ち ゃ	① ハモグリバエ類	並	↓	やや多	平年の発生量の推移（↓）
（ニ 施ガ 設ウ ）リ	① 斑点病	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターの
ホームページにて、発生予報の詳細
内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（八重山群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マ ン ゴ ー	炭疽病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるので、施設外へ持ち出し処分する。
	カイガラムシ類	甘露を排泄するカイガラムシ類は樹上のアリ類を探することで発見しやすくなる。 カイガラムシ類は、一般的に成虫の薬剤感受性が低いことから、幼虫に対して薬剤防除を行う。

向こう1か月の天候の見通し 沖縄地方（01/27～02/26）

予報のポイント

- 向こう1か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため高く、特に期間の前半はかなり高くなる見込みです。
- 向こう1か月の日照時間は、高気圧に覆われやすい時期があるため、平年並か多いでしょう。

1月23日発表の3か月予報での2月の予報に比べ、低気圧などの影響を受けにくい見通しに変わったため、多雨の可能性が小さくなりました。

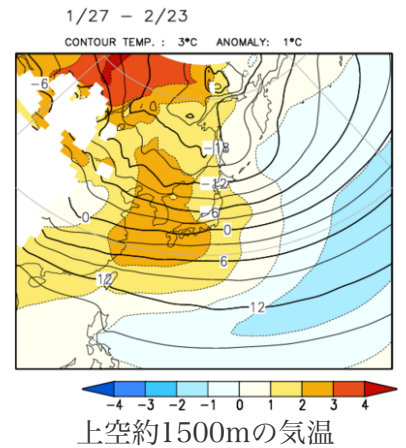
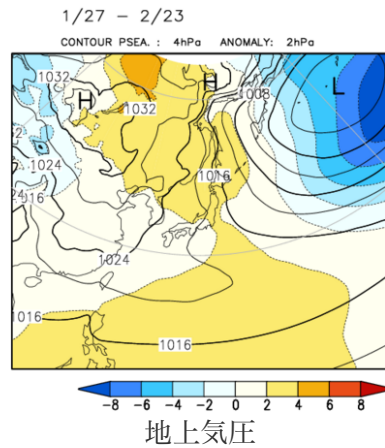
1か月の平均気温・降水量・日照時間

	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
沖縄地方	低10 並10 高80% 高い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み
数値は予想される出現確率（%）です	<p>平均気温（1か月）</p> <p>低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%） L 平年並も40 J 以上</p>	<p>降水量（1か月）</p> <p>少ない確率（%） 50 40 40 50 多い確率（%） L 平年並も40 J 以上</p>	<p>日照時間（1か月）</p> <p>少ない確率（%） 50 40 40 50 多い確率（%） L 平年並も40 J 以上</p>

数値予報モデルによる予測結果

1か月平均の地上気圧（左図）は、沖縄の南海上では平年より高いと予測され、高気圧に覆われやすい時期もあるでしょう。

上空約1500mの気温（右図）は、沖縄付近では平年より高いと予測され、暖かい空気に覆われやすい見込みです。



季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。

多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

	平均気温（1週目） 01/27～02/02	平均気温（2週目） 02/03～02/09	平均気温（3～4週目） 02/10～02/23
週別の天候	期間のはじめは、気圧の谷の影響で雨の降る所もありますが、その後は低気圧や前線及び寒気の影響を受けにくいいため、平年に比べ曇りや雨の日の少ないでしょう。	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
沖縄地方	低10 並10 高80% 高い見込み	低10 並10 高80% 高い見込み	低20 並40 高40% 平年並か高い見込み
数値は予想される出現確率（%）です	<p>平均気温（1週目）</p> <p>低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%） （%）以上 平年並も40% 以上（%）</p>	<p>平均気温（2週目）</p> <p>低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%） （%）以上 平年並も40% 以上（%）</p>	<p>平均気温（3～4週目）</p> <p>低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%） （%）以上 平年並も40% 以上（%）</p>

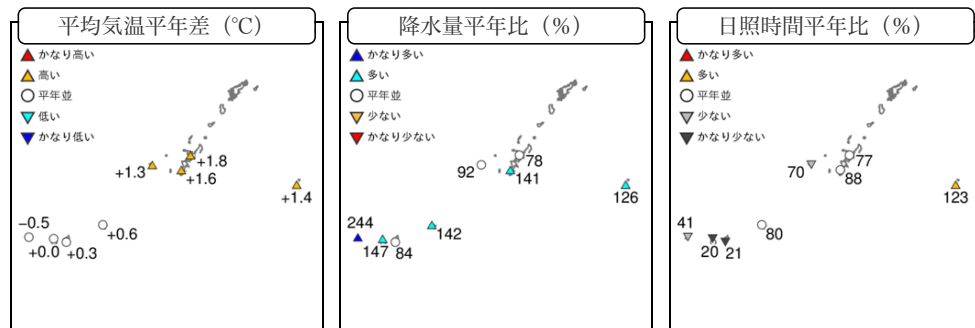
明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。

「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料 (<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/okinawa1.html>) をご覧ください。

文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「参考（確率予報の解説）」をご覧ください。

最近1週間の天候経過



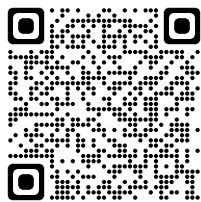
(実況) 01/18～01/24	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
沖縄地方	+0.7℃ (平年並)	133% (多い)	57% (少ない)

確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い） 確率が50%以上	高い（多い） 見込み
(20：40：40)	平年並か高い（多い） 見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
(40：30：30) (30：40：30) (30：30：40)	ほぼ平年並の見込み
(40：40：20)	平年並か低い（少ない） 見込み
低い（少ない） 確率が50%以上	低い（少ない） 見込み

気温・降水量・日照時間等の平年値につきましては、次のページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/okinawa1.html>



天気日数（晴れ日数及び降水日数）の平年値につきましては、次のページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/tenkinissuu/tenkinissuu.html>

